

2025

/21Fri

12:30~17:00 (受付12:00~) 事前参加申込が必要です

甲南大学 岡本キャンパス

甲南大学は「世界に通用する研究力をより良い社会の実 現への貢献につなげる」ことを掲げております。 参加者の皆様と本学研究者との双方向コミュニケーショ ンを通じて先端的な研究成果を体感いただき、 社会実装・社会貢献をさらに加速させることを目的とし

て「甲南大学先端研究社会実装シンポジウム」を開催い たします。

同日開催

サテライトシンポジウム 10:00~12:00

フジツボ、外来アリ、ナガエツルノゲイトウー 外来種と向き合う環境調和型の駆除技術

会場:甲南大学 岡本キャンパス iCommons2階 Union L-4

第2回甲南大学 先端研究社会実装シンポジウム 【主催】甲南大学

【後援団体・企業】(五十音順)

大阪イノベーションハブ(公益財団法人 大阪産業局)

大阪商工会議所

関西イノベーションイニシアティブ(KSII)

株式会社 関西みらい銀行

一般社団法人 甲南大学同窓会甲南会

公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構

一般社団法人 神戸経済同友会

公益財団法人 こうべ産業・就労支援財団

神戸市

神戸商工会議所

株式会社 神戸新聞社

公益財団法人 新産業創造研究機構(NIRO)

大学都市神戸産官学プラットフォーム 公益財団法人 ひょうご科学技術協会

一般社団法人 兵庫県中小企業家同友会

公益社団法人 兵庫工業会

ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム

株式会社 三井住友銀行 株式会社 みなと銀行

【協力団体】 関西スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC)





13:10~



©Copyright株式会社東芝

株式会社東芝 代表取締役社長執行役員CEO 島田 太郎 氏

(1990年 甲南大学理学部物理学科卒)

基調講演 会場:甲友会館大ホール

Alと量子が拓くサステナブルな未来

進化を続けるAIの開発には、データと調教が重要であり、ここに日本にとってのチャンスが存在します。一方、AIは莫大な電力と資金を必要とし、その解決には量子技術の進化が不可欠となっています。量子技術の産業化に向けて、今何が起きているのか、産官学連携の重要性を含めて紹介いただきます。

新明和工業株式会社、シーメンス株式会社などを経て、2018年10月にコーポレートデジタル事業責任者 (CSO) として株式会社東芝に入社。2019年4月より執行役常務 最高デジタル責任者 (CDO) 、2020年2月より東芝データ株式会社 代表取締役CEO、同年4月より東芝デジタルソリューションズ株式会社 取締役社長を歴任。2022年3月に株式会社東芝 代表執行役社長CEOに就任し、2023年12月より代表取締役 社長執行役員CEO 現在に至る。2022年5月より一般社団法人 量子技術による新産業創出協議会(Q-STAR)代表理事を務める。

14:00~



甲南大学 フロンティアサイエンス学部 長濱 宏治 教授

特別講演 会場:甲友会館大ホール

再生医療の革新と普及を実現する機能性ゲルの創出

近年の医療の目覚ましい進歩は、医学、薬学、生物学などの学術の進展に加え、材料や機器の進展にも基づいています。つまり、医師(医学研究者)や薬剤師(創薬研究者)に加え、材料や機器を開発するモノづくりの研究者なくして現代医療(未来医療も)は成立しません。長濱教授は未来医療を拓く医療材料を創出する研究に取り組んでおり、研究のゴールは、創出した医療材料を社会実装して医療現場に届け、従来の医療では救えない多くの人々を救うことです。特別講演では、次世代医療として有望視されている再生医療の革新と普及を実現する機能性ゲルの創出について講演します。

14:40~ 研究シーズ プレゼンテーション 会場: iCommons2階 Union L-4

本学教員による展示ブース、大学院生によるポスター展示は12:30より 実施いたします。ぜひお立ち寄りください。 出展詳細は右記のORコードよりご確認ください。



お申し込み

Reserve your visit



下記のURLまたはQRコードの参加申し込みフォームに お進みのうえ、お申込みください。

特設ページ

https://www.konan-u.ac.jp/front/lp/symposium-ksia2025/

アクセス Access



お問い合わせ Inquiry

甲南大学フロンティア研究推進機構事務室 シンポジウム実施係

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1 甲南大学岡本キャンパス12号館6階 TEL:078-435-2754 (ダイヤルイン)

E-mail: sangaku@ml.konan-u.ac.jp